

令和元年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

①豊かな心をはぐくむ教育の推進

<p>1 一人一人の児童生徒の尊重</p> <p>学校は、一人一人の子どもを大切にされた指導や対応ができていると思いますか。</p>	<p>2 友達への思いやり</p> <p>子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。</p>	<p>3 道徳・心の教育の充実</p> <p>学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。(礼儀、生命尊重、思いやりなど)</p>
<p>【学校から】○3つの項目全てにおいて、「3」または「4」と評価した人の割合が90%を超えており、これらの項目に関して良好な結果となった。人権教育や道徳の学習も計画に基づいてきちんと行われていることが成果につながっていると言える。しかしながら、「2」あるいは「1」と評価している人も昨年度と割合は変わらないくらいいるので、それらの割合がもっともっと減るように、家庭とも連携して今後も指導を続けていきたい。</p>		

②確かな学力を育む教育の推進

<p>4 意欲的な学習態度</p> <p>子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p>	<p>5 授業力向上</p> <p>先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。</p>	<p>6 ICT活用</p> <p>先生方は、ICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。</p>
<p>【学校から】○こちらの3つの項目全てで「4」または、「3」が90%を超えた。特にICTの活用については、昨年度87%に留まっていた評価が96%になった。これは、今年度より児童がタブレットを使用できるようになったことやそれに伴い、教職員が積極的に電子黒板を活用し、授業改善を行っていることに起因すると思われる。引き続き、ICTを活用した楽しい授業づくりに努めていきたい。児童の10%は「2」、「1」の評価なので10パーセントの子供たちが、「分かり易く楽しい」と実感できる授業づくりを心掛けたい。</p>		

③健やかな体を育む教育の推進

7 健康づくり

子どもは、好き嫌いなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。

【学校から】○この項目に関しては、教職員の「4」の割合が0%であった。食育を進めてはいるが、なかなか好き嫌いはなくなる。児童・保護者も「4」「3」は、80%を少し超える程度にとどまっているので、引き続き、家庭の協力を得ながら、指導を続けていきたい。

①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実

<p>8 児童生徒理解</p> <p>先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。</p>	<p>9 いじめや問題への対応</p> <p>学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。</p>	<p>②特別支援教育の推進</p> <p>10 学校の支援体制</p> <p>学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。</p>
<p>【学校から】○「3」または「4」の回答が90%程度になっており、概ね保護者の理解も得られているようであるが、「いじめや問題への対応」で「3」と「4」の回答が教職員で100%だったのに対し、保護者は89%、児童は90%で少しズレがあるようである。早期発見がいじめの早期解決につながることから、学校でもより早くいじめを発見できるようにしっかりと子供たちの様子を見て、もしもいじめを発見した場合は、すぐに解決できるようにしていきたい。</p>		

①子どもたちの身近な安全対策の充実

<p>11 安全と事故防止</p> <p>学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。</p>	<p>②最適な学習環境の整備</p> <p>12 施設・設備の安全管理</p> <p>学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。</p>
<p>【学校から】○この項目に関しては、保護者、児童、教職員全てにおいて「3」「4」と評価した人が95%を超えている。今のところ大きな事故は起きていないが、これに慢心せず、引き続き指導を続けていきたい。</p>	<p>【学校から】○この項目は、「3」「4」を合わせると80%を超えるが、「4」と評価している人は少ない。学校の校舎が古く、老朽化しているのが原因ではないかと思われる。事故があとからでは遅いので、安全点検は入念に行うようにしたい。</p>

③家庭・地域社会との連携強化

<h4>13 教育方針・目標の理解</h4>	<h4>14 家庭や地域との連携協力</h4>
<p>学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。</p>	<p>子供は、外遊びをよくしていると思いますか。</p>
<p>【学校から】○「教育方針・目標の理解」に関しては、保護者、児童、教職員全てで「3」「4」の評価が90%前後となっているが、「4」だけに限ってみると保護者、教職員で40%以下に留まっている。保護者には、折に触れて話をするほか、学校だより等で、知らせ、教育方針・目標をより理解していただき、家庭との連携を深め、今後の教育活動を進められるようにしていきたい。</p>	

⑧本校の教育

<h4>15 体力向上の取組</h4>	<h4>16 体力向上の取組</h4>	<h4>17 基本的な生活習慣の定着</h4>
<p>子供は、外遊びをよくしていると思いますか。</p>	<p>学校は、体力向上の取組を子供と一体となって推進していると思いますか。</p>	<p>学校は、基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん）の定着を推進していると思いますか。</p>
<p>【学校から】○他の項目に比べて、「外遊び」の項目は、「2」「1」の割合が多い。教職員では、「3」「4」の割合が80%を超えているが、保護者、児童では70%程度に留まっており、認識のズレがある。子供が外遊びができるような時間の確保と、声掛けが必要である。健康教育に取り組んでいるが、児童の実態を見ると、いいことは分かっているがなかなか行動に結びつかないという実態もある。健康教育の推進は、学校だけでは難しいところもあるので、家庭と連携、協力しながら基本的な生活習慣の定着を図っていきたい。</p>		

来年度の具体的な取り組みについて

<p>○ 来年度は、使用教科書も変わるので、今年度中にしっかりと年間計画を立て、計画に基づいた指導を行えるように準備したい。今年度ICTの導入で授業の在り方も随分変化してきた。教職員のICTのスキルには、個人差が見られるが、今後も個人研修だけでなく校内研修でもICTの研修を行い、スキルアップして授業での効果的なICTの活用を図りたい。更に、プログラミング学習も始まるので、共通理解や研修は必要になると思われることから、研修を行いたい。</p> <p>○ 健康教育に取り組み、食育、体育、保健の3方向から研修を進めてきた。まだ十分とは言えないが、子供たちや保護者の意識も随分変わってきたようである。本年度は、研究の一環として、縦割り班活動である「心・体力・きずなUP遠足」（鍛錬遠足）を行った。地域の方々や保護者の方々の理解と協力の下、大きな行事を成功させることができた。児童会活動ともタイアップさせることにより、子供たちの心身を鍛えることにつながった。今後も続けていきたい。</p> <p>○ 不登校傾向にある児童が増えつつあり、今後の対応を考えていかねばならない。教室に入ることができない児童の居場所としてPC室の活用を考えている。児童も学力を保障するとともにSSTなどの個別指導を行えるような体制を整えることも必要である。特別支援コーディネーターと相談しながら、進めていきたい。</p> <p>○ JRCに加入したので、JRCの理念を子供たちに定着させ、JRCの理念のもとに、健康教育を進めていく。</p>
--

学校関係者評価

<p>○ゲームが生活習慣に大きく影響をしている。また、視力や体力の低下にもつながっている。子供たちの生活にこんな背景があるからこそ、学校が進めている健康教育や体力向上の取り組みはさらに進めてほしい。</p> <p>○学習内容が多岐にわたり、大変豊富になっていると感じる。いろんな学習内容や学習方法があって、子供たちは興味や関心を持ち、意欲的に学習できていた。しかし、その内容の多さが負担になっている子供もいるかもしれないという視点も必要ではないか。</p> <p>○保護者が忙しく、子供とじっくり向き合う時間を持っていない家庭もあるのではないかと。そういったことも不登校傾向の子供が増えている要因になっていると思う。地域と連携し、町内活動などに積極的に参加するよう呼びかけることで、地域の見守りを活用してほしい。</p> <p>○縦割り班活動は、責任感の育成や体力向上に加え、コミュニケーション能力をつけるうえでも有効な取り組みではないか。ぜひ、継続してほしい。</p>
